

第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって  
平成18年9月19日(火) 17:00~19:00

講師 佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長  
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

平成19年1月からNHKの大河ドラマとしてスタートする「風林火山」をめぐって、マスコミと連携した街づくりの可能性を探りました。

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを  
平成18年10月23日(月) 17:00~19:00

講師 久米えみさん ながのクラッセ会長  
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

「街に出よう自分たちができることから始めよう」と、地域に根ざした街づくりを展開する「ながのクラッセ」の活動を紹介します。

第3回 スポーツによる街づくりを  
平成18年11月21日(火) 17:00~19:00

講師 鷲沢幸一さん アスレながの事務局長  
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

サッカーとアイスホッケーで長野を生き生きさせたい... お二人の熱い思いがあふれる講演となりました。

第4回 写真で見る長野の街並み  
平成19年1月23日(火) 17:00~19:00

講師 清水隆史さん フォトグラファーほか  
常磐昭二さん CMディレクター

普段着の目線で長野の街を撮り続けているフォトグラファーの清水隆史さんとCMディレクターの常磐昭二さんに、若い感性でとらえた街づくりのヒントをお聞きました。

わいがやサロン スペシャル

【テーマ】 スポーツによるコミュニティ再生

平成19年2月22日(木) 午後2:00~3:30 ホテル国際21 (3F千歳の間)

講師 二宮 清純氏 (スポーツジャーナリスト)

気鋭のスポーツジャーナリスト・二宮清純氏をお招きして、スポーツによる街づくりの可能性を探りました。

第5回 健康と美容を保つために  
平成19年3月22日(木) 17:00~18:30

講師 虎羽里(トラバリ)ゼーラさん (アーユルヴェーダ・健康セラピスト)

アーユルヴェーダは、三千年も昔から伝えられるインドの伝承医学です。「ヘッドマッサージ」のデモンストレーションを交えながらの楽しい講演となりました。

第6回 環境と街づくり / ばていお大門・TOiGOの設計に参画して  
平成19年4月21日(月) 17:00~19:00

講師 竜野泰一さん (株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士])

建築は街の景観に大きく影響します。建築を通じて、地域の生活と文化にさわやかな風を送りたいという、竜野副社長の熱い想いの伝わるセミナーでした。



わいがや  
サロン

通信

Vol. 7  
2007.6



NUPRI  
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
www.nupri.or.jp  
e-mail: nupri@nupri.or.jp

NUPRI  
Nagano Urban Policy Research Institute  
NPO法人 長野都市経営研究所

第7回

## 信濃グランセローズの挑戦

平成19年5月21日(月) 18:00~20:00

講師／木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

■座長 岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911



木田 勇氏は、横浜出身。横浜一商高から社会人野球の日本鋼管を経てプロ入りした80年に新人王、日本野球史上初の新人選手としてMVPに選出。翌年のチーム・リーグ優勝に貢献。投手として日本ハム、大洋、中日で活躍。90年に36歳で現役引退

風薫り、若葉が目にしみる5月のわいがやサロンは、今春始動した北信越BC(ベースボールチャレンジ)リーグに長野県から参戦している信濃グランセローズの木田勇監督をお招きしました。「信濃グランセローズの挑戦」と題して思いのたけを語っていただきました。

## 縁あって長野へ

こうした席に声をかけていただき有り難うございます。隣にお座りの三沢社長(株)長野県民球団代表取締役社長 三沢今朝治氏は、1979年のドラフトで私を1位指名してくれた日本ハム・ファイターズのスカウトの方でした。昨年東京ドームでばったりお会いした際、北信越BCリーグのお話が出て、その後「監督をやってくれ」という電話が。三沢さんが仰ることなら、どこの監督かとも聞かずお受けしたのでした。

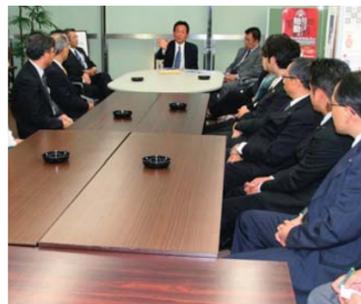
来月で53歳になります。これまで私が長野の地を踏んだのは高校野球時代、大町高校に遠征試合した3日間だけでしたが、縁あってこうしてやってきた長野を第二の故郷と思い、地域に元気を注入できるよう頑張ります。

## プロならばこそ

私は若い選手を応援したい気持ちを常にもっていました。何事も、コーチ・監督も人間のつながりがあるからこそ。日本ハム球団の依頼で少年野球のコーチをして、多くの子どもたちとやりとりしてきたことが若い選手たちと付き合っていくうえで役立つと思います。

各地で開いてくださる激励会で、選手が自己紹介するわけですが、必ず「プロ野球選手になります」という言葉が出ます。セ・パ12球団でやりたいという意味なのでしょうが、「君らはもう独立リーグのプロ野球選手なんだよ」と、プレー・私生活・メディアや後援会との付き合いに対して“プロならばこそ”の意識付けをコーチとともに教えている毎日です。

野球はチームワークです。チームワークをよくするにはどうしたらよいか。私なりに勉強してきた答えは、①自分のために、という明確な目標(利己的とは違う)②感謝する心(球団フロント・後援会・中野市民はじめ長野県民の皆さん・野球ができる平和な環境……)③他者を応援できる心(それによって自分のモチベーションを上



げる)の3つ。この3つを全選手が自分のものとして捉えたチームは必ず優勝出来ます。

2か月経ち、選手たちは大分変わり、大人になりました。指導においては、なぜ?を自分で気付かせる。努力や進歩には褒めるというように、結果でなくプロセスを評価していきます。大切なのは「いつも君たちを見ているよ」という安心感。メンタル面がしっかりしていれば歯車が回ると信じています。

## 皆の夢を“運ぶ”

コーチ (coach) の元々の意味は“運ぶ”ことだそうです。

3年前まではNPB(日本プロ野球組織)のドラフトにひっかからなければ、プロへの夢が絶たれたも同然でした。四国アイランドリーグが生まれ、こうして北信越BCリーグができ、道筋が開かれた意義は大きい。

NPBプレーヤーになるという選手たちの夢をどこまで運んであげられるか、何人かは行かせられると思う。でも、行けない選手が8~9割。信濃グランセローズでの来季契約だって分かりません。しかし、「木田の下でやっていたのなら我が社で採用したい」と社会人として彼らが認められること——それも私に課せられた使命だと考えています。

中野の街を歩いていると握手を求められたり、話しかけてくださる方々がいて嬉しいですね。りんごレッドのユニフォームで、地域の活性化という住民の皆さんの夢をかなえる(運ぶ)お手伝いをさせていただきたい。どうか、時間をください。

言葉の端々からチームづくりの責任感と温かい人柄が伝わってきた講演でした。出席者の「他チームとの戦力の違いは?」という質問に、監督は「プロの試合は戦力の違いではなく結果だけがあることを選手たちは理解している。コーチや私とのコミュニケーションは絶対他チームより上です」と即答。信濃グランセローズ&木田監督に大きなエールを!



[www.grandserows.co.jp](http://www.grandserows.co.jp)



1/23中野市営野球場が公式練習グラウンドに決定。4/28リーグ戦開幕。5/31現在、72試合中15試合消化、3勝10敗2引き分け。